

(別記)

一月四日(水)

- 1 内閣強化初閣議ニテ決定
- 2 防共外交ノ展望
- 3 経済展望社説
- 4 二巨頭暗殺計画
- 5 大命平沼男カ
- 6 主要記事見出

一月五日(木)

- 1 平沼近衛一致
- 2 軍部ノ期待
- 3 社説
- 4 全体主義へ拍車
- 5 英態度硬化

一月六日(金)

- 6 ヘリヤ社逸人追出
- 7 二百中校東京飛来
- 8 觀兵式
- 9 公債消化工作
- 10 初交換額
- 11 政民全的支特
- 12 軍部ニ項目要求
- 13 主要記事見出

一月六日(金)

- 1 平沼内閣成立(社説)
- 2 新ノ联動向
- 3 大島一白島会見
- 4 佛蘇條約鹿渡説

一月七日(土)

- 1 企副院拡大
- 2 防共陣営拡大ニ先ノ兩祖界返還
- 3 平沼思第一声
- 4 汪ノ第二火声明
- 5 在滿領事館廃止
- 6 平沼男
- 7 社説
- 8 ソ聯機越境
- 9 四德國公債発行
- 10 五百萬人登録

一月九日(月)

- 11 漁業会談
- 12 主要記事見出
- 1 漁業会談
- 2 亜館市会談
- 3 汪兆銘書簡
- 4 首相ノ思想議會論駁ノ題目
- 5 移民國策ニ滿洲國ニ攸
- 6 主要記事見出

4 英政府重光ニ申入	朝日	讀賣
5 共産党和平問題正教	朝日	朝日
6 毛沢東要求	朝日	朝日
7 独伊秘密協定	朝日	朝日
8 近衛公ニ質問	朝日	朝日
9 米村日武器禁輸	朝日	朝日
10 アリヒン審議	朝日	朝日
11 主要記事見出し	朝日	朝日
一月十一日(水)		
1 河合教授検事取調	朝日	朝日
2 首相議会演説	朝日	朝日
3 漢業長法大政責任(社説)	朝日	朝日
4 孫科談	朝日	朝日
5 ハンガリー新洲国承認	朝日	朝日
6 汪移駐	朝日	朝日
7 英米対策	朝日	朝日
8 社説	朝日	朝日
9 河合同情サル	朝日	朝日
10 青木昇格	朝日	朝日
11 印度教徒日本佛教ト提携希望	朝日	朝日
12 主要記事見出し	朝日	朝日
一月十二日(木)		
1 興亜外交トソ聯	朝日	朝日
2 企劃院拡充案	朝日	朝日
3 首相演説要項	朝日	朝日
4 大使会議巴厘デ二十五日	朝日	朝日
5 汪腹心談	朝日	朝日
6 共産党員国民党入り	朝日	朝日

7 警察ト元食	朝日	朝日
8 ソ聯号船南清	朝日	朝日
9 社説	朝日	朝日
10 主要記事見出し	朝日	朝日
一月十三日(金)		
1 首相時局談	朝日	朝日
2 ビルマ騷擾	朝日	朝日
3 蔣空軍再建	朝日	朝日
4 ソ聯援蔣	朝日	朝日
5 社説	朝日	朝日
6 ソ聯日本硬ニ動ル(ソソル電)中外	朝日	朝日
7 主要記事見出し	朝日	朝日
一月十四日(土)		
1 平沼貴次院懇談会	朝日	朝日
2 興亜院初会議	朝日	朝日
3 鏡養之ハ新平自由出演	朝日	朝日
4 汪兆銘ノ決意	朝日	朝日
5 日本伊太利支持	朝日	朝日
6 漢口佛租款開放	朝日	朝日
7 政治歧路(社説)	朝日	朝日
8 北支棉花日本へ割當	朝日	朝日
9 ハンガリー防共参加	朝日	朝日
10 河合詢書検事高ニ	朝日	朝日
11 荒木ノ人的資源ノ要強制	朝日	朝日
12 重慶政府汪一次ニ寛	朝日	朝日
13 主要記事見出し	朝日	朝日

0437

特外歌第三一八

昭和十四年二月二十一日

参事 齋藤 隆

外務省 参事 齋藤 隆
内務省 参事 齋藤 隆

内務大臣 木戸 幸一
北海道、福井、愛知、福井、
京都、大阪、兵庫、山口、福岡、長崎、
各府、県、市長、官、殿

シツス通信社ノ本邦各埠情報蒐集状況ノ件

(前報二月四日特外歌第三一九號)

赤坂區氷川町十七番地

シツス通信員 赤坂區氷川町十七番地 (三四)

分類 A 950.25

右者本邦各埠情報ヲ蒐集シ本國ニ通信スルト共ニ陸日露聯邦大使館情報部ノ

直屬機關トシテ活動シ居ル状況ニ關シテハ前報ノ處二月一日ヨリ今十五日迄

ニ邦人助手ヲシテ日刊新聞記事ヨリ英譯セシメタル情報別記ノ邊ニ有之

右及申(通)報 候

0438

二月一日(水)

記

- 1、蔭ヲ飽迄悔ムニ非ズ
- 2、東京國際會議說否定
- 3、僑ノ不信ニ對策
- 4、荒木文相必要アラバ大學令改正
- 5、軍用資源秘密法
- 6、國債一人當リ一二六圓
- 7、生産力増加三四%
- 8、ソ聯極東ニ溶鑛爐二十基
- 9、一月貿易好調
- 10、國民生活安定策
- 11、主要記事見出

二月二日(木)

- 1、帝國ソ聯兵備ニ對應 板垣陸相言明
- 2、漁業交渉實質問題
- 3、吳ノ中原出馬(社説)
- 4、軍部、政黨ニ總親和
- 5、「最良ノ引例シハイカン」

朝日日朝朝 各朝日" "朝" 日朝朝朝
 日日日日日 紙日日 日 日日日日

二月三日(金)

- 6、土方鐵授處分
 - 7、貴族院有志北洋漁業ニツキ政府觀察
 - 8、米小賣商米穀會社反對
 - 9、帝大再建
 - 10、軍備ノ重點ハ大陸ニ
 - 11、文相兼池男ト應酬
 - 12、主要記事見出
- 二月三日(金)
- 1、「物動」豫算總會
 - 2、ソ聯兵越境
 - 3、滿蒙一元統制
 - 4、鞍山鐵礦辭意
 - 5、軍備ノ重ヲ大陸ヘ
 - 6、國債一六二億
 - 7、ソ聯、ハンガリー國交斷絶
 - 8、主要記事見出
- 二月四日(土)
- 1、第三國ノ援助ナクモ時局收拾可能

朝 各日都帝日朝朝朝 各朝朝朝日朝中
 日 紙日 日 日日日 紙日日日日日外

0439

- 4、柳川長官、支那指導方針説明
- 5、ソ聯石炭利権奪取
- 6、近衛公、首相貴族院開會演説
- 7、首相時局談
- 8、失業状況
- 9、精神總動員案可決
- 10、フジシス、フジシロ政權承認決定
- 11、主要記事見出

二月十日(金)

- 1、ソ聯兵越境
- 2、大島、重光會見
- 3、豫算案決定
- 4、東方、社大、合同(社説)
- 5、北支建設開始
- 6、川邊少將選ル
- 7、主要記事見出

二月十三日(月)

- 1、議會後半期

- 2、海口税關接收
- 3、土方博士ノ件
- 4、海南島占領(社説)
- 5、對ソ問題(社説)
- 6、經濟社説

- 7、松平領事、佛領事訪問(海南島問題)
- 8、主要記事見出

二月十四日(火)

- 1、全體主義政黨ニ革農協モ参加
- 2、海口税關接收申渡
- 3、大學再建
- 4、寧豫豫算二十五日頃提出
- 5、商榷切符配給考慮
- 6、對ソ利益論駁
- 7、金買上案
- 8、ソレゾー抗議

朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞

朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞

朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞

朝日新聞 朝日新聞 朝日新聞

- 9、英夫人等崩帶卷
 - 10、主要記事見出
- 二月十五日(水)
- 1、對ソ漁業決意

- 2、出漁決意
- 3、自主外交(社説) (特ニ大領領例ノ要求ニ依リ遼ニシタル由)
- 4、北洋漁業(社説)
- 5、豫算實行單價切下
- 6、海南島戰果
- 7、英米大使露都暗躍
- 8、ソ聯國境越境
- 9、十五、六歳豫備徴兵、産兒減少セン
- 10、トビイノン辭任カ?
- 11、陸軍軍醫會議
- 12、主要記事見出

各朝報讀 " 日 " 朝 帝 國 中 都 國 各 朝
 紙 日 知 賢 日 日 日 民 外 民 紙 日

以
 上

0442

特外取第五七九號

昭和十四年四月六日

警視總監 萱場 軍藏

内務大臣 水戸 栄一 殿

北海道庁 愛知県 千代田郡 民部 谷縣村長官 殿

蘇聯邦タツス通信東京支社ノ近況ニ関スル件

(対第 一月二十四日 特外取第一三四號)

事務所 赤坂区氷川町一七番地(マリーニング)所在

タツス通信東京支社

(通信員ボリス、イヌライレイデ、マリーニング 三四年)

右通信社ハ各國通信員ト連絡ヲ有シ本邦各種情報蒐集ニ極メテ便利ナル地位ニアリ且駐日蘇聯邦大使館ノ別動隊トシテ諜報活

動ニ従事シ居ル狀況ニ関シテハ屢報ノ屢最近勤務員ノ執務狀況等左記ノ通ニ有之

記

一通信員マリーニング

の大使館トノ連絡

毎日午後大使館員が事務所ニ来訪スル外殆ト毎日ノ如ク大使館ニ掛モ報告及連絡シ居レリ

二 購読新聞紙

の 日刊新聞 || 東京朝日、東京日日、國民、萬朝、都、帝都

日、中外商業、報知、讀賣、毎夕

の 英文新聞紙 || 英文日日、アドヴァタイザー、シヤパンタイムス、シヤンクワニクル

の 同盟通信 || ホームニュース(政治社会)、エフリンクサービス(経済)、エイシヤマス(極

東事情) プレスニュース(外信)

外記特外取記者通信員等通信
所記等ノ新聞(三三頁付)

0443

(3) プレスカード書啓

逓信省ヨリ「メーリング」ニ対シテ光給ノプレスレングラフカードハ昨年四月十二日光行ニテ期限一ヶ年ノ為東京都市逓信局經由更新手續中ノ處三月二十九日附ニテ更ニ一ヶ年間有効ノカードヲ交付セラレタリ

ニ、タイピスト「ソフイマ、サンエリ、エツナ、イオニン」

右ハイインプーリスト代表「イオニン」ノ妻ニシテ昨年四月二十日ヨリ通勤シ居リタル處三月二十七日突然辞職シ原因ハ給料問題トノ噂アルガ全人ハ月給二百圓支給サレ居リタルモノナリ

三、助手「塚口馨二」及「平野英雄」

塚口ハ従来通り日刊新聞記事ノ英訳ヲ担当シ、平野ハ露文電報文ノ英訳(検閲用ニ提出スルモノ)及「メーリング」ヨリ指定サ

レタル新聞雑誌記事ノ露訳ニ従事シ居レリ
四、連絡員雇ハ

去ル一月未連絡員、朝野人沈甲烈(ニニカ辞職セル後平野英雄ハ同盟通信社関係ニ依頼シ物色中ノ處

本籍 宮城縣刈田郡新川村大字平字宮ノ脇 倉之助四男
住所 滝ノ川區滝ノ川町一ハ三ニ 大野火八方

元電報通信社エレメーター係 石川和景

(大正十年十一月二十一日生)

ヲ三月九日月給四十円(現在五十四)ニテ雇入レ、中古自転車一輛ヲ購ハシテ同盟通信社及中央電信局等トノ連絡ニ使用シ居レリ

右及申(通)報候

0444

分類ノ95.0.2-5

特外政第九九一號
昭和十四年六月八日

警視總監 萱場 軍藏

内務大臣 木戸 幸一 殿
警視總監 萱場 軍藏 殿

タツス通信社ノ本邦各産情報蒐集状況ノ件

(前報五月二十七日特外政第九九一號)

赤坂區氷川町十七番地

蘇聯邦タツス通信員ボリス・イズレイヴィチ・メーリング(三四)

右者駐日蘇聯邦大使館ノ情報機関トシテ本邦各産情報ヲ蒐集シ大使館ニ提出並ニ本國タツス通信本社ニ通信シ

居ル状況ニ関シテハ要報ノ殿前報后五月二十二日ヨリ三十一日迄ニ日刊新聞紙ヨリ助手ヲシテ翻譯セシメタル情報別記ノ通ニ有之

右及申(通)報候

0445

五月二十二日(月)

我が道義外交ハ何處へ行ク

我が艦隊厦門ニ入港

大詠ヲ=百五十戸焼ク

独伊軍事同盟締結

独伊軍事同盟ノ締結ト日本

天津ノ外國租界問題ヲ解決セヨ

天津ノ外國租界

我が海艦厦門入港

独伊軍事同盟締結

天津ノ外國租界問題

人類ヲ救フハ日本精神

厦門ノ外國租界

五月二十三日(火)

独伊軍事同盟ノ締結(社説)

独伊軍事同盟ノ締結(社説)

独伊同盟ニ對スル平沼首相談

独伊同盟ニ對スル内閣情報部長談

日独伊ノ相互援助(社説)

朝日日報知ハ独伊同盟ニ就テ何ト語ルカ

歐洲問題ニ關スル軍幹部ノ會議

独伊同盟ト日水關係

英弗統ノ既日ヲエスチニア

北支ニ於テ日本人ノ金貨利用禁止

ノ蒙國幣ニ於ケル交戦

ノ滿國幣ニ於ケル交戦

國

報

中

外

知

日

報

都

報

日

報

日

報

日

報

日

報

日

報

日

報

日

報

0446

三浦總領事聲明 若シ水ニシテ上海租界ニ對
スル態度ヲ變更セザル限リ兵カヲ行成スルノミ
符々石政府將領百將校ヲ招博

報 日
報 日

二十四日(水)

鼓浪嶼島ノ情勢

報 日

鼓浪嶼租界ノ紛糾(社説)

報 日

小國陸軍隊ノ鼓浪嶼上陸ハ益々秩序ヲ紊ス

報 日

鼓浪嶼ノ情勢ニ就テ我海軍當局重々聲明ヲ發ス

報 日

香港ニ於ケル英米大坂會談

報 日

鼓浪嶼租界當局ノ不誠意ナル田舎

報 日

廈門ノ状況英米非陸軍隊揚陸

報 日

廈門ノ情勢緊迫

報 日

外蒙機七機墜

報 日

外蒙機三田ニ墜リ國境侵犯

報 日

兵線接近ハ困難

報 日

ソ聯北軍ハ石油利権ヲ阻害

報 日

石田外相重要協議ヲ續ク

報 日

首相海相ト重要會談

報 日

小相樞密院ニ歐洲情勢説明

報 日

法伊同盟ト日本ノ決心

報 日

脊道下ニアル日本

報 日

政府及國民ノ食カ政治(社説)

報 日

滿洲移民方法ノ再検討(社説)

報 日

廢物利用益化(社説)

報 日

金制貯蓄ヲ爲サシメルハ困難

報 日

駐日ルーマニア大使滿洲ニ旅行

報 日

0447

五月二十五日(水)

駐支英大使將水師及水團一將長助ノ電書手交、日
門ニ於ケル英艦水及日本艦隊司令官会談
新南ニ於ケル死日テロ、日本入ニ名死亡
内田總領事波浪峽工部局ニ抗議ヲ展水
黒龍江及ウスリー江上ノソ、朕國艦隊備兵ノ
不共射撃

新工省改組

自由經濟カラ計畫經濟ヘ
日本改訂相創削減ニ努カ

五月二十六日(金)
水戸内相各縣改制度ノ改革ヲ各部長ニ要請

内蒙國情勢緊迫

内田總領事波浪峽租界當局ト直接交渉
波浪峽カラニ國出戦隊ノ撤退ガ先大問題(法説)
租界ト領土統治

支那ニ於ケル外國租界ニ對スル
興味の皆置ヲ講ビヨ(法説)

租界干渉ハ其クヲ用フルノ
日本ハ支那ニ租界ヲ返還スヘシ

英米ノ三國同盟(法説)

英ノ會談ニ就テ(法説)

民主主義ノ激裁(ハ)

歐洲情勢ニソキ首相去相會談

一西日中ニ歐洲問題ニ對スル皆置ヲトル
滿洲國ノ物動狀画

日

都

報

知

民

都

報

知

民

日

都

報

知

民

日

都

報

知

民

日

帝

都

報

知

民

日

報

知

民

日

朝

日

報

知

民

日

朝

0448

内田總領事租界當局ト交渉
將、王正廷ヲ米國ニ派遣

直接稅他ニ比較シ重要位置ヲ占ム

戰時ニ於ケル資源統制ノ強化六月ヨリ始マル

租稅制度改革

甲肝ニ製糸家委員會結成

餘肥給制度ノ確立(社説)

首相ノ权限ヲ擴大セヨ

五月三十日(火)

ノモンハン事件小蒙機百機中四十二機撃墜

ノモンハン事件ニ對スル開成軍司令郭聲琨

ノ小蒙軍ノ越境(社説)

ノ小蒙留産ニ於ケル戦ト飛行機(社説)

ノ小蒙側ヨリ不去越境(社説)

ノ租界問題ヲ解決セヨ(ハハ)

ノ廈門租界當局ノ田舎(内田總領事報告)

ノ英船ニテ波浪映厦門向ノケーブル切斷

ノクレーダ、チエンパレンヨリ揚子江龍江及

ノ租界問題ノ訓令ヲ受取ル

ノ廈門租界當局ノ田舎不誠意

ノ六月五日近衛公西園寺公ニ重大報告

ノ亞米利加中立ノ再検討ト日本(社説)

五月三十一日(水)

ノ小蒙ノ衝突ニテノ軍機時我ガ軍力ニ屈服

ノノ朕航空機ノ弱点暴露

ノ小蒙軍滿洲國境ヲ犯ス(社説)

日

報

知

日

報

日

報

日

朝日、讀賣、中外、國民

日、日、朝、報、知

日、朝、日、報、知、朝、報

中

朝

日

報

日

報

日

報

日

報

日

報

日

報

日

報

日

報

日

報

日

報

日

報

日

報

日

0450

（戦軍ノ弱点暴露（社説））

新日本陸戦隊厦門ニ増強

厦門租界當局ニ對スル致シ書

上海砲台艦隊司令官ト英米麻大灰會談

上海ヲ三國會談

上海ヲ英米麻伊及日本艦隊司令官會談催サレ

厦門ニ於ケル抗日ヲロシニ回ニ及ブ

三國大灰軍需ニ向フ

支那ニ於ケル非常ナ戦績（社説）

我戦績ト租界（社説）

將在重慶對日平和論者一決ヲ辱ス

察哈尔省ニ於テ奇兵ナル外人檢査

米國政府ト中立法（社説）

都

報知新聞民衆

回

中外民

報

中外民

報

報知

日

報知

報

報知

報

次州問題ニ関シ近日中ニ首座海ニ相會キ所ナル

六月カヲ婦人卸展配達現ハル

小賣商ノ縮小去案大田議會ニ提出

小賣商縮小

小商人ヲ育成スル

インフレーション停止ハ如何ニスベキカ（社説）

六月五日近衛公西園寺公ニ會見

報

報

報

報

報

報

報

報

報

報

報

報

0451

REEL No. A-0391

0485

アジア歴史資料センター

分類/3.5.0.2-5

特外歌第一〇三五巻

昭和十四年六月十七日

警視總監 萱場 軍 蔵

内務大臣 水戸 幸一 殿

北海道津川郡阿寒町福井
宮野次郎 警視長 各 廳 府 縣 長 官 殿

タツス通信社ノ本邦各種情報蒐集状況ノ件

(前報六月八日特外歌第九九一巻)

赤坂區氷川町十七番地
蘇聯邦タツス通信員

ボリス・イズライロウチ・メーリング (三四)

右者本邦各種情報ヲ蒐集シ在莫斯科タツス本社ニ通信スル外

駐日蘇聯邦大使館ニ提出シ居ル状況ニ関シテハ屢報ノ處前報後
六月一日ヨリ八日迄一日刊新聞記事ヨリ助手ヲシテ翻譯セシメタ
レモノ別記ノ通ニ有之

右及申(通)報候

記

六月一日(水)

都 カ一駐支英大使の策動
支那に於ける三國の活躍
大連租界當局のリストを渡すべし
朝日 ソンエート則七百名の戦死
首相の権限擴大
社説 英佛大使の租界問題に關し日本を押し之と努む
亦上半期に十億円の國債消化
國 民 蒋介石の根據地香港英國が援助す
報 知 英ソ交渉に就て歐亞局長談
社説 連支軍及海軍航空隊の業績

中 外 英國と蒋介石の文化的接近
日本。最後通牒十三日迄に七名のテロリストを日本
官憲に引渡せ
社説 物影と菅政官庁の激突
ノモハンに於て七百名の死傷を與ふ
帝都日日 鼓浪嶼問題の交渉展開と進行
取 日 ノモハンに於て七百名の死傷を與ふ
社説 滿洲國への移民政策の深究
社説 物影と官衙予備の再検討

0452

日 民 上海外租界同被破壞の交通線等請
 天津租界當局 抗日分子引渡し拒否
 海軍省製造組合(艦誌)十が一組合とす
 労働問題に對し新對象を以要とす
 警察官多数定に金五振す
 津 津租界當局 抗日分子引渡し拒否
 水軍小支の收獲等は九百六十四石
 新教育局と局長の改選
 支那の軟弱と諸小國の援手援助
 天津租界當局 抗日分子引渡し拒否
 座相明日政羅巴向願に就き首相と會談
 英國皇帝の米國訪問
 滿洲國政在國境侵犯に就き抗議を發す
 英國則支那入りの分子引渡し拒否
 貴族院議員の任命
 英國則天津に於て抗日分子引渡し拒否
 明日對政問題に就き大臣會議開催
 クレーマー大蔵省田外相訪問
 政羅巴對策決定

六月八日(木)
 上海事件英國人工場の罷業と日本陸軍版

英八日陸軍版員に中絶せし
 秘密を洩しに依りニ外務省支度断とる
 英國の不遜激小志を援助しテロ分子を引渡さず
 英艦大日本航空會社飛行機を香港附近に於て墜落
 小隊軍ハルハ河附近に増強
 新政府新政の根本問題
 天津租界當局のテロ分子に對し断乎を以手改とん
 香港に於て英國日航飛行機を墜落
 上海に於ける英人政打死せしめり事件に就き英國同
 慎重
 國民の金を投棄
 英國巡洋艦日本飛行機を墜落
 英國の不法行為依然として續く
 煙草財近に於てノ朕矢然意
 函工省機構七局一級
 天津に於て日本英國に對抗
 日英の抗争
 英國と租界問題
 一好ハ隊の資源調査
 上海に於ける事件
 英人ピストルを發射日本陸軍版これに改打
 外國軍艦日本飛行機墜落
 生活の改善

0454

分類 135.02-5

特外政第一〇九〇號

昭和十四年六月二十三日

警視總監 萱場 軍 藏

内務大臣 木 戸 幸 一 殿

警視總監 萱場 軍 藏 殿

タツス通信社ノ本邦各種情報蒐集状況ノ件

(前報六月十七日特外政第一〇三五号)

赤坂區氷川町十七番地

蘇聯邦タツス通信員

ボリス・イズライレウイチ、メーリング

氏者本邦各種情報ヲ蒐集シ在莫斯殊本社ニ通信並ニ

駐日蘇聯邦大使館ニ提出シ居ル状況ニ関シテハ屢報ノ屢

前報后六月九日ヨリ十七日迄ニ助手ヲシテ日刊新聞記事

ヨリ翻譯セシメタルモノ別記ノ通ニ有之

右及申(通)報候

外國新聞記者協會
雜件 昭和十四年六月二十三日

0455

六月九日(金)

國民 吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

報知 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

中外 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

報知 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

報知 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

報知 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

報知 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

報知 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

報知 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

報知 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

報知 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

報知 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

報知 社説、吾上銀行紙幣の底意、六半の情勢緊迫、日本入

六月十一日(日)

國民 不審租界十五日に封鎖され、

報知 不審租界十五日に封鎖され、

中外 不審租界十五日に封鎖され、

報知 不審租界十五日に封鎖され、

報知 不審租界十五日に封鎖され、

報知 不審租界十五日に封鎖され、

報知 不審租界十五日に封鎖され、

報知 不審租界十五日に封鎖され、

報知 不審租界十五日に封鎖され、

報知 不審租界十五日に封鎖され、

報知 不審租界十五日に封鎖され、

報知 不審租界十五日に封鎖され、

報知 不審租界十五日に封鎖され、

0456

0456

英 報

租界問題對英五相會議後英政府之極意對英政府
對英(大英對西)英政府後買より)

報 日

社説國民學校と入學式後の改訂
英兵の武裝デモ、英人映画撮影禁止改訂
社説貴族院改革問題

讀 賣

新憲法に於て英佛不平等條約司令長官公使不平等
租界管領日本別支特、日本で女學校閉校の改訂
社説支那の外國租界を如何にすべきか英法租界對英の
意見

報 日

英國軍艦不津に向ふ
社説總動員法を卷野に於て、二十日より五日間日支善款
授與問題に就き協議

報 日

社説不津五月中の我民を卷野に於て、支那入場子江村領
下関の砲台をどうものとする

六月十七日(土)

國 民

不津問題英國政府の日本と正通し得ず新聞
紙の懸念(英國對英失敗に於て、支那入中に反英
思想)

報 知

社説入場子の物産の供給に於て、解散運輸入会社の設立
西二省内に調査委員會設置、不津に於ける抗日表
示の組織

報 外

社説英國租界問題に對し嚴重な此
英佛不平等條約司令長官會議、英國の對日經濟
政策は元々重なるものな
社説租界問題と英國の協力に援助

報 日

天津租界の封鎖、天津に於ける反英支那人団体、
英國側の反省を待つ
社説西二省の改訂、金銀品、根拠品の動向

報 日

社説入場子の改訂、三北銘の聲明
三北銘の聲明
天津英國租界内に支那入場子の改訂をせよ、三北銘の聲明
支那國民の獨立精神とは何れ、國民の贈答品の購入に於ける
西二省の企圖失敗

報 日

五相會議、天津の抗日分子支那人及び格闘に援けを
求む、クレーマー、不津有田外相訪問、天津の貨
幣價值低落

以上

0457

分類 13.5.0.2-5

特外政第一一五一號

昭和十四年七月六日

警視總監 萱場 軍藏



大臣 水戸 幸一 殿
各縣庁長官 殿

夕マ通信社ノ本邦各産情報送集状況ノ件

(前報六月二十三日特外政第一〇九九号)

赤坂區氷川町ナセ番地

蘇联邦タス通信員

ボリス、イスライレウイチ、メーリング

右者本邦各産情報ヲ送集シ在莫脉殊本社ニ通信ス

ル外、駐日蘇联邦大使館情報部ニ提出シ居ル状況ニ
関シテハ屢報ノ屢前報后六月二十日ヨリ今二十九日迄
ニ動手ヲシテ日刊新聞紙記事ヨリ發取セシメタルモ
別記ノ通ニ有之

左及申(報)候也

外國新聞記者通信員登録出
露子人ノ部

0458

日 報 カムチャッカに於て日英政府に對する不満足

迫に就て兼田大官スマーニンに抗議

若し英國に於て日本と協調せんと欲せば官しく

カーハ夫を重慶から召還すべし

英國艦隊日本軍隊を威嚇す。英國に對り日本

抗議す。日本製鉄二千五百万円の社債發行、

社説 日本に對する經濟封鎖と英債

我知社債敵社金を皆わその判断を誤る

日 報 北支救急軍司令官日本軍を恥かしめた英國人に

對り攻撃す。楊子江に日本艦隊行動機密にて

日本軍と敵艦救済隊問題解決の交渉不行の

社説 國民精神總動員實施の重要性

日 報 各省物價調整局の組織を急ぐ

日 報 政羅巴問題に關し近く五相會議前ハルハ北

支に於ける反英氣運、その犯人引渡して英國

の懲罰

中 外 有田とクレギー、亞米利加調停を申すに依

り各省之れを拒否

社説 商工省に貿易委員會の組織

報 知 有田とクレギー、貿易振興の新組織

社説 政友會を解散せよ

日 報 有田外相拜謁、クレギー有田を訪問

社説 支那問題と日英交渉、大陸に於ける日本艦の勝利

日 報 英國將校の援助を停止せざる限り外務省の

態度硬化せん、政羅巴問題に就き明日五相會

議開かれん、

社説 鉄道運輸輕減の根本策

中 外 六天津津國英租界市内より放逐せられん、該界

英租界に對する日本の要求英法(内西)の聲明

社説 高等女學校閉校

濟 責 明年度豫算實施方針

市 報 無し

報 重慶から要入駐英艦隊良野後の風評

社説 租界問題の責任は英國に在る

六月二十一日(水)

濟 責 シレーヤ大兵悲嘆をおげる有田外相の急告 有田

外相、天皇に拜謁、重慶政府承認、三三〇及

英大會開催、各省節約行はれん

社説 亞米利加側の援助と之れに對する我々の態度

社説 貴院改組も忘れんか

報 知 シレーヤと有田、天津極東艦隊司令後任、お

談、政羅巴問題に關する五相會議、青木新政府

易省の大臣と成るか、スパイ防止に警備官に於る

のため中學生動員政府案

六月二十二日(木)

朝 日 北頭爆撃、鉄道破壞命令、北頭占領、北頭

の破壊停止、在上海支那銀行支店停止、香

港の不穩状態、鼓浪嶼封鎖に對する英艦隊

の抗議

社説 日本軍北頭を占領

報 知 國民社記者硬化と英國の状況、日本艦隊英國領内押入

報 知 鼓浪嶼の物資不足、三國悲嘆をおげる、内田日本海軍

討論華試を拒否

社説英國との協力を露意

中外 湖洲の支那軍増強支那省の改組北頭の封鎖と上陸

東日社説北頭の占領、新嘉波に於て英佛艦隊司令長官會談ロール波蘭公使有田外相訪問吹羅巴爾察に於て話す。

讀賣 支那則全北頭被破計画湖洲鉄道の封鎖

社説北頭上陸

都 重慶露艦援助拒否支那紙幣の下落

社説水國調停説

市都 天津の英國租界降旗、他に方々無シ日本の北

頭爆撃大破、腹死の術

中外 天津在住英人を圧迫せよ

社説東京市廳制度の改革

報知 「英國を終極」と青島の反英抗争、英國天幕の

テロ犯人保護

社説精神總動員の根本問題

國民 北頭の英國駐兵、非禮、水國は協力的

社説新嘉波に於ける英水師司令長官の會談

報知 社説北頭に於ける日本詰留の新政策

六月二十四日(土)

報知 社説北頭、租界の外國人も租界統治の改正を欲す(厦門より向島通信)

報知 社説北頭、租界の外國人も租界統治の改正を欲す(厦門より向島通信)

報知 社説北頭、租界の外國人も租界統治の改正を欲す(厦門より向島通信)

報知 社説北頭、租界の外國人も租界統治の改正を欲す(厦門より向島通信)

六月二十三日(金)

讀賣 一年上り月日に北頭日本領事館開校北頭

港の英艦の非禮、天津で再び日本憲兵に英人検挙、テロ犯人の自白租界當局被擧を述べて入る。

社説貿易省設置問題に就て

東日 北頭湖洲間の鉄道被破厦門に於て拉日セル分

子檢舉

社説 労働問題に關する積極策

朝日 日本詰留第三國の權益保護日本詰留との協力を

望、英國駐兵の非禮、非及證的行動北頭に入港

社説支那銀行の銀行資金の引取、前運銀行

海南島の新地点と據

讀賣 日新軍断平の軍も撃退、郵員支隊の振奮、

の郵員、天津の上りによる回教徒の反英気分

中外 社説支那の天幕と、勢の転曲、戦甲の機警、陸

國民 駐支大兵の止、及總領事のシム、の石路を、

向人居留民要望、上海に支那人間、及英氣定む、

社説西省の内貿易委員會の設置に就て

報知 未嘗有の軍事、英軍の劣勢再燃、

社説北頭に關する皇軍の要望

市都 社説北頭、租界の外國人も租界統治の改正を欲す(厦門より向島通信)

報知

六月二十六日(月)

朝日 外蒙で二機撃墜、

社説英國と天津租界問題、支通商條約

0460

十、外 滿蒙國境の衝突、蔣介石兵團の侵入、ソ連の
派遣を要望、

東日 社説 陸海空協同最低賃金制定、支那海軍の締結
滿蒙 滿洲國境に於ける衝突、英國憲兵の暴行、ソ

聯機三機撃墜、五百機撃墜、千六機撃墜、取機日
章旗を用い、社説 英海軍艦隊日本船に死を

向け、滿洲に於て共產党員十名に對し死刑宣
言(新京より) 同盟通信(在滿中國共產党中央委
員會挨拶)

國民 北京より千五百同盟通信、蔣介石援助
報知 外蒙軍に關する河相の談話

新聞 聯機三機撃墜
午部 二十二日、聯機五十六機撃墜

蔣介石(新京より) 社説 蔣介石(滿洲國政府) 外蒙國民に對す
中元を感せず、

朝日 英船以頭の戦果的行動を阻害す、

社説 非常時を戦と生活、建設

新聞 經濟警察の権限を擴大して新手段を濫用す、

社説 蔣の真意(外蒙事件)

六月十八日(水) 夕

六月二十九日(木)

朝日 英國船頭及居留民に不寛く、滿洲から去る、

滿蒙國境の衝突

社説 滿洲國境に於ける、取機軍の敗退

國民 北京より同盟通信、那桐の反英、アモ、蒙古

國境の衝突、天津英國租界の暴行、不遂行動

六月十七日(火)

國民 敵飛行機千機再度滿洲國境を侵す、クレ

ヤー昨日有田を訪問、租税問題に就て、昨自
蔣介石に金銭的援助

社説 官商兩利制度問題に就て政府態度決定
海運規制に關する欠点

報知 社説 貿易高設置問題に就て、以頭の反英運動
中外社説 明年度の予算とその目的、外國船の以頭入港禁止

東日 モスコーより同盟通信、ソ連通信、外蒙事件に就て、ソ
ムニヤを發表せし、英海軍艦隊を艦隊すると、蔣介石
外國船の入港禁止、

社説 去年度予算は何れも、ソ連に依るが、労働官
艦隊に關する法律改正、規制強化される、

我が社説を拒否、香港滿洲間の電信千台社
説(朝)

社説 滿蒙國境の衝突

東日 天津英租界問題に就き、米道からクレーム、

有田の交渉開始、小人、青島の英領事、ソ連及

反英態度に就き、日本に二回も抗議を提出

社説 滿洲と那桐の貿易關係調査、ソ連と日本權益

戸道と滿洲國境問題、五人の蒙古兵に對し

取飛行機捕獲とある、スマートフォンによる

社説 滿蒙國境問題とソ連、新手段に於ける衝突

に基き、極東英海軍艦隊の派遣

社説 社説 世界經濟と、防共防露、滿洲對峙、以頭入港の

船舶の制限

以上

0461

分類 3.5.0.25

特外政第一二五七號

昭和十四年七月二十一日

警視總監 萱場 軍藏

内務大臣 水戸 幸一 殿
警視總監 警視庁長官 警視庁長官 警視庁長官

夕ス通信社ノ本邦各産情報蒐集状況ノ件

(前報七月六日特外政第一二五二號)

赤坂區氷川町十七番地

蘇联邦夕ス通信員

ボリス、イブライレウイチ、メーリング

右若本邦各産情報ヲ蒐集シ在莫斯殊夕ス通信本社ニ通
信スル外駐日蘇联邦大使館情報部ニ提出シ居ル状況ニ

関シテハ屢報ノ屢前報后七月三日ヨリ十四日迄ニ助手ヲ
シテ日刊新聞記事ヨリ翻譯セシメタルモノ別記ノ通ニ前
之

右及申(通)報候

0462

七月三〇

相日

北支那政府の経路不問に聲明日軍軍の聲明、ハバート英領事日英会談を監視(漢口より通信)、滿洲國總領事日英領事、支那官憲の及英領聲明、及英運動会支に蔓延縮州の封鎖

社説 金買上に際し如何にすべき

国民

外交に於ける反ソ叛乱、若くは英國との態度を及ぼせざる限り英領事日英会談の要あり、外交回廊に於ける地上戦、海軍局に近く新改権本場、同盟通信北京より及英熱高まる。

報知

蒙古國境の衝突、ホロンバイルに於ける衝突、ノモンハンノ衝突

中外

冷河河味の衝突、ホルスライン河上の戦闘

英日社説 願望日英協約の第一

讀賣 十七時向の我軍、砲十門を發射、

帝都 ンブリー河米の國境衝突

七月四日

朝日 外務國務事

社説 米國の中立法採骨城々である。

夜日 蒙古事、大軍日英當局英租界問題に社説

強硬態度を待す。

社説 日英戦に及る世間一周

讀賣 外務事、寺内大將独断と行く

社説 我國への問題

国民 蒙古事

社説 米臨時政府の聲明と東京日英会談

報知 蒙古事

社説 英國我が経済界を開放せしむ

中外

蒙古事

社説 小波回帰事

都

社説 東京日英会談

七月六日

相日

スマターニ百選の原因、空軍冷河河味近を殆んど全野撃破、百士機撃破、大東海軍領事、シレーキス大に報告を送る、福州滞在の外人退去警告、

社説 支那秩序建設委員会の組織

讀賣

國際に於ける政治、俄或冷河河味に日本、英、米の反英運動、藤田飛行士の話、冷河河味の戦闘、大東英領事のシマ

社説 中五去とレーグメントの態度

夜日 河北省に於ける將士の援助、我軍の百を襲

報

社説 北支、美兵、パーマメントシマと精神

中外 厦門に於ける反英運動、敵機蒙古國境から

消去。

社説 英陸軍軍同盟艦隊に延長ストライク

ルメン船隊日本人の回航止

報知 在英の英人、英國誠意を披露せしむるは

は次殺、軍部、態度、蒙古國境の状況

社説 途后事、英人の資金、英領事近く

国民 在英の英人の批戦的行板

社説 東京日英会談の意義

都 社説 吾人は英國に警告する。

0463

0465

受、支那に於ける反兵運動に關し、喜多友西

赤符軍や兵と協議の概り東京

社説 東京に於ける日英会議と輿論、日英交渉に

は日英委員会開催

報日 中華學校改革案、全日本に反兵運動、或派

英兵租税當局村銀解除要求

社説 米國の中立法改訂失敗

報知 平沼首相明白演説に赴く、

社説 実行し得る一五の年度予算の編成、有田会

談を前にインロービエを異し、

ワ外 社説、日英及英米國に對する日本の輿論

報日 日英会議に於ける主用語日本語に決定

社説 日英会議の根柢戦術

、英の漢費圧迫に對する對策協議、

社説 青果と蔭肉労働者制法

報日 社説 寺内、大角、大將の次選、彭浪、英當局、日兵の要

求むる、

漢費誌説 寺内、大角、西大將、独伊訪問

、聯英成化部隊、合不、合に果結

帝 報 日 日英内閣のスパイと外國へ情報の漏洩

報日 多倫、經濟支那に注意

社説 日英会議の基礎

七日十四日

國民 大英兵租税當局租税より支那への引揚が

を案せず、明日の日英会議、日本の態度強

報日 報支那の報制、兵へ開封から引揚が

報日 ネル格、石炭の採り、重慶へ赴く

報日 大英兵租税と希望、前日、報支那對策

報日 不明

報日 報支那省農村への配給額を減らす

ワ外 大英兵入港の反兵ミーティング、日英通商條約

近く締結されん、日英人口の増や減下

報日 大英兵租税に、労働者不足す。労働者工場に

に抑留され、犠牲性大なり。人口の増や減下昨

年より三十分減少、小英軍總司令部、重慶新

聞の宣伝

々

分類 135.0.2-5

特外歐第一二七八號
昭和十四年七月二十五日

警視總監 萱場 軍 藏

内務大臣 水戸 幸一 殿
北野 松川 菊岡 長崎 長崎 大坂 長崎 山口 福岡 長崎

タックス通信社ノ本邦各産情報蒐集状況ノ件

(前報七月二十一日特外欧第一二五七號)

赤坂區氷川町十七番地

兼联邦タックス通信員

ボリス、イブ、ライレウイチ、メーリン、グ

右若本邦各産情報ヲ蒐集シ在真跡殊タックス本社ニ通信
スル外、駐日兼联邦大坂館情報部ノ機関トシテ活動シ居

ル状況ニ関シテハ屢報ノ屢七月十八日ヨリ二十一日迄ニ日
刊新聞記事ヨリ助手ヲシテ調査セシメタルモノ別記ノ通
ニ有之

右及申(通)報候

0466

七月十八日(火)

中外

ソ聯機バルシヤガル高地に越境

重慶政府の一部和平安望

重慶政府東京會談に不満

社説、民主々義諸國と果敢會談

明日有田タレトゾイ會談行はる。

東京會談と天津英租界

社説、米國と對日經濟封鎖

バルシヤガル事件

英國九ヶ國條約に依るなら日本之れに協力せず

豆那で日本軍將官戦死

哈爾哈河事件

十五日府縣に亘る防空演習

ソ蒙機十七機ハロンナルシャン爆撃

天津英租界當局倫敦當局の政策に不満

日

哈爾哈河バルシヤガル事件

ソ聯態度を變せず、日滿官憲重大決意

上海の英兵暴行

社説、東京會談と九ヶ國條約

社説、世界危機と英國の超勞級艦建造

哈爾哈事件

社説、需要の國勢調査

蒙古國境事件に關する五相會談

フラルキ爆撃に關する抗議に對するソ聯の回答を促す

北京新政權蔣介石政府より脱れんとする言に呼掛く

社説、防空演習と國民の覚悟

英國九ヶ國條約を適用せんとす

七月十九日(水)

國民 (十八日北京より同盟通信)

英國の縮小運動

0467

社説、反英運動 日本 の 政黨
社説、所得税とその種類
外 北支から英人一掃か

支那から全英人閉出し要求
對ソ問題に就き昨日五相會談開かる
社説、最近に於ける不法なるソ聯の態度
漢口の英人暴行事件解決
天津英人の驚愕

東京日英會談と英國
五相會談とソ聯の對日不法行爲
近くソ聯に對し強硬抗議行はれん
韓太の日本の利権、ソ聯火事場泥棒の如し
重慶から最後の獨逸人顧問脱出
需要に對して慎重なれ
社説、日英會談日本の態度不變

二十日(木)

滿蒙事件に關し陸相及參謀本部と協議のため關東軍司令官歸朝
有田夕レ、日英會談に就て
天津で英品、英貨、英人ボイコット
社説、日英會談進行

本年の早天の損害
蒙古國境で三機撃墜
日英會談、本日首相、外相、陸相の會談
社説、蔣介石政府幣制の破壊
社説、蔣介石政府法幣の暴落
社説、地代家賃と物價の引下げ
東日 新京、吉林、奉天でも防空演習
社説、蔣介石政府法幣の下落と英人の濟南引上げ
中外 蒙古國境事件は怖るゝに足らずと
關東軍司令官の談
十三名のソ聯將兵投降

0468

社説、夏期諸學校學生の訓練

日本軍上海兩部「ゼンジョウ」を占據

支那の戦況、東京日英會談と中央軍共產重

社説、衆議院と日英會談

帝都 無し

七月二十一日(金)

五百圓未滿の所得に所得稅賦課

天津に日本軍の鐵條網

鈴木總領事佛領印度支那談

ソヴェート蒙古は國防次長「タリツク」が指揮すと伯林より
報導

ソヴェート蒙古關係記事三件

社説、我が要求と英國の傾向

中外 ソ聯機の來襲

社説、石炭飢餓とその救濟方法、獨身稅

報知

北京で英貨のボイコット

アンリ佛大使クレギーに面接

本日の有田クレギー會談

ソ蒙機日本野戰病院を爆撃

ソ聯機五百六十機撃墜

磯貝將軍陸相に具申

社説、英國の對日惡感情會談で表面化

電氣飢餓と對策

國民 社説、支那に於ける反英運動の特質、獨身稅

有田クレギー會談

朝日 ソ聯機二機撃墜

社説、英國は何を欲するか

帝都 關東軍司令官磯貝將軍入京

真日 磯貝將軍陸相に報告

第二次ノモンハン事件で越境せるソ聯機千六百六十六機

0469

社説、米國中立法審議を中止

所得税額ノ擴張

蒙古國境事件

社説、有田タレノ會談第三日

墜ソ聯機數

以上

0470

REEL No. A-0391

0305

アジア歴史資料センター

寫送先

秘書官 會計 文書 儀典 人典 調事 文查 情化 條報 通約 米商 歐洲 東亞 亞

大臣 次官

電信課長

昭和15 九三九〇

暗 ストクホルム 四月十一日 後發 本 省 十二日前着

情

有田外務大臣

平田代理公使

第一八六號

往電第一一七號ニ關シ

當地「タス」通信員「クルグロワ」女史ハ數日前莫斯科ニ赴キタル

カ最早當地ニ歸任セス事ニ依レハ「タス」ヨリ極東ニ派遣セラルヘ

シトノ噂アリ (諜報)

(御見込ニ依リ浦潮ヘ轉電アリタシ)

蘇、芬蘭ニ轉電セリ

外務省記者通信員事務課長

0471

外務省

秘

第一課長

昭和15年五月四日 晴 哈爾濱 六月一日 夜發

本省 一日夜發

情

有田外務大臣

久保田總領事

第一九三號

貫電第三一號ニ關シ（哈爾濱「タイムス」在京通信員身元調査依頼）

「ハルビンスコエウレミヤ」社ニ照會セル處 Boris Strelshesky

ハ所持スル證明書ノ通り同社ノ在京通信員ニシテ通信記事ニ應シ報

酬ヲ支拂フ契約ナルカ Joseph Beschermitch ハ同社トハ何等關係ナキ

趣ナリ

尙調査ニ依レハ前者ハ赴日前當地白露人事務局第五課長タリシ者ニ

シテ軍側ト或種ノ關係ノ下ニ赴日セル模様ニテ旁通信事務ニ携ハリ

電信寫

手書
藤田

居ルモノノ如ク古澤社長ヨリ外國通信員定例會見出席方依頼シ居レ
ルカ後者ハ當地基督教青年會中學校卒業後早稻田國際學院入學ノ目
的ヲ以テ赴日セルモノニテ（四月八日當館ニ於テ査證發給）同人ハ
會テ當地「ザリヤ」紙ニ演藝記事ヲ書キタルコトアリ赴日前「ハル
ビンスコエウレミヤ」社在京通信員ヲ希望シ拒絕セラレタルニ拘
ラス其ノ後數回同社ニ通信ヲ爲セル由ナリ（了）

0472

COPY

18 April, 1940

TO WHOM IT MAY CONCERN.

This is to certify that the bearer of the present is Mr. J. M. Bescheremnih, correspondent of the Harbin Weekly "Golos Emigrantov", Russian newspaper, edited under the supervision of the Bureau for Affairs of Russian Emigrants in Manchoukuo, who is residing in Tokyo with the purpose of obtaining information with regard to the general situation in Japan for our periodical.

It would be considered as a great favour to us if you would accord him all possible assistance as to facilitate the task entrusted to him.

We thank you in advance for according your courtesy in kind reception to our reporter. Your courtesy will be greatly appreciated and reciprocated.

Editor in Chief,

M. Gordeeff.

在滿州國舊滿鐵僑民事務局
去散部昭和十五年四月十八日附
牙三二六号

0473

REEL No. A-0391



事務
三行

(分類 A3.5.0.2-5)

昭和15 二七九七七 (暗) 莫斯科 九月十二日後發
 本省 十三日前着
 東郷大使
 松岡外務大臣
 第一二五七號
 往電第一二五六號ニ關シ
 在京「タス」特派員増員ヲ查證問題全般ニ引掛ケタル「グゼンコ」
 言分ノ不當ナルハ申ス迄モナキモ最近貴地ニ於テ「ドルビン」ニ對
 シ關係當局間ニ審議中ナル旨回答セラレ又今般朝日新聞モ當地ニ特
 派員ヲ任命セル趣ナルニ付(同社ヨリ本使宛直接查證ニ付配慮方電
 報越セリ)此ノ際特派員相互駐在ニ付至急我方ノ方針ヲ確定相成ル
 必要アリト認メラル(了)

外務省

(日本標準規格B5)

0476

D
2
6
0
1-1

A3.5.0.2-5

昭和17 五五三一四 (暗) 上海 六月二十三日後發
 本省 二十三日夜着
 堀内總領事
 東郷外務大臣
 第一三三七號
 (「タス」通信員毆打事件ニ關スル件)
 貴電第八八二號ニ關シ
 一 滿大宛往電第八號ヲ以テ概報セル通り「ビフリヤエフ」ヲ毆打セ
 ル關川巡查ハ奉天丸ニ警乗シ未タ歸港セサルモ今日迄取調ノ結果
 左ノ通り
 (一) 右往電ニノ通り十八日「ハリン」竝ニ「シヤリコフ」ヨリ當館
 員ニ對シ「ビフリヤエフ」妻ニ對スル滿洲國查證發給竝ニ奉天
 丸ニテ歸國方取計ヲ得度キ旨申出アリタルモ當館館員ハ關東州
 ニテハ即日滿洲國向出發セシムルコトナリ居ル次第モアリ
 大連ニ於テ滿洲國查證發給遲延シ紛糾ヲ生スルコトヲ慮リ且「ビ
 二對スル滿洲國查證發給ヲ見サルハ滿洲側ニ於ケル事務上手落ナル

外務省

(日本標準規格B5)

0477

ヘント思考シタルヲ以テ右事情ヲ懇々ト説明ノ上次ノ便船迄「ビ」一家ノ出發ヲ延期セシムルコト適當ナル旨述ヘ置キタルニ對シ「ハリン」竝ニ「シヤリゴフ」ハ何等反對ノ意思表示ヲ爲ス意圖ナク引取りタリ依テ當館係官ハ大連汽船ニ對シ「ビ」妻ヲ乗船セシメサル様申渡シ置ケリ

(二) 然ルニ「ハリン」等ハ當方勸告ヲ無視スル意圖ナリシモノノ如ク十八日右來訪ノ後任在東京蘇聯邦大使館ニ對シ當館ニ於テハ「ビ」ヲ大連ニ赴カシメ大連ニテ滿側ノ査證ヲ取付クル様勸告セリトノ事實ニ相違スル電報ヲ打電シ居ルノミナラス十九日早朝七時頃一般乗船時間ニ先チテ「ビ」一家ヲ素早く乗船セシメタリ(舷門立會ノ警察官ハ何等格別ノ指令ヲ受ケ居ラス且日本側査證ハ完備シ居リタル爲敢テ乗船ヲ拒絶セザリシ次第ナリ)然ルニ「ビ」一家乗船後前記(一)ノ「ビ」妻乘

(日本標準規格B5)

0478

船阻止方當館申聞ヲ受ケタル大連汽船船客係大潮某ナル者「ビ」妻ヲ探シ出シ下船方要求シタルモ「ビ」妻及夫ハ頑強ニ拒絶シタルヲ以テ已ムヲ得ス大潮ハ關川巡查ニ下船ニ付協力ヲ求めタルヲ以テ同巡查ニ於テ「ビ」ニ對シ再度旅券提示方要求シタルニ對シ出帆後ナラハ旅券提示スルモ可ナリ等ト稱シ飽迄モ旅券提示ヲ拒否セルヲ以テ更ニ下船ヲ命シタルニ鐵棒ニ繼リテ離レス肘ヲ張り反抗的態度ニ出テタルヲ以テ業ヲ煮ヤシ毆打セル次第ナリ其ノ際「ハリン」等現地ニ馳付ケ仲ニ立チ入りタルト又其ノ場ニ居リタル一部ノ日本人カ日本側ノ査證ヲ有スルコトナレハ兎モ角大連迄赴カシムルモ已ムヲ得サルヘント述ヘタルヲ以テ結局關川モ夫レ以上下船ヲ強要スルコトナク出帆セシメタル趣ナリ(尙「ハリン」ハ現場ニ於テ大潮等ニ對シ當館カ「ビ」妻乗船方同意セル旨偽ノ申立ヲ爲シ得ルノミナラス係官ニ電話シ再度乗船方斡旋ヲ要求シ係

(日本標準規格B5)

0479

官ヨリ拒否セラレタル経緯アルニ拘ラス強引ニ「ビ」ヲ乗船
 セシメタルモノナリ)

(三)冒頭往電四ノ如ク「ハリン」ハ出帆後當館館員ヲ來訪抗議セ
 ルカ館員ヨリ前日我方ノ出發延期ノ申聞ニ對シ「ハ」ハ反對
 ノ意思表示ヲセサリシニ拘ラス何故今朝ニ至リ當方申入ト正
 反對ニ「ビ」ヲ乗船出發セシメタルヤト質問セルニ對シ「ハ」
 ハ東京ノ訓令ニ依ル旨應酬セルヲ以テ今後ハ東京蘇聯邦大使
 館ニ相談セラルヘク當館ニ相談スル必要ナシト述ヘ置キタル
 趣ナリ(在京蘇聯邦大使館ヨリ前記「ハ」發電ニ對シ「ビ」
 ヲ大連ニ赴カシムヘシトノ訓電十九日早朝到着シ居レリ)又
 其ノ際「ハ」ハ「ビ」ハ旅券ヲ提示シタル後理由ナシニ嚴打
 セラレタリト主張セルモ右ハ七時頃乗船スルニ際シ提示セル
 コトヲ意味シ再提示ノ要求ニ對シテハ前記ノ如ク頑強ニ拒否
 セルコト真相ナリ

(日本標準規格Bの)

0480 2449

外務省

官ヨリ拒否セラレタル経緯アルニ拘ラス強引ニ「ビ」ヲ乗船
 セシメタルモノナリ)

(三)冒頭往電四ノ如ク「ハリン」ハ出帆後當館館員ヲ來訪抗議セ
 ルカ館員ヨリ前日我方ノ出發延期ノ申聞ニ對シ「ハ」ハ反對
 ノ意思表示ヲセサリシニ拘ラス何故今朝ニ至リ當方申入ト正
 反對ニ「ビ」ヲ乗船出發セシメタルヤト質問セルニ對シ「ハ」
 ハ東京ノ訓令ニ依ル旨應酬セルヲ以テ今後ハ東京蘇聯邦大使
 館ニ相談セラルヘク當館ニ相談スル必要ナシト述ヘ置キタル
 趣ナリ(在京蘇聯邦大使館ヨリ前記「ハ」發電ニ對シ「ビ」
 ヲ大連ニ赴カシムヘシトノ訓電十九日早朝到着シ居レリ)又
 其ノ際「ハ」ハ「ビ」ハ旅券ヲ提示シタル後理由ナシニ嚴打
 セラレタリト主張セルモ右ハ七時頃乗船スルニ際シ提示セル
 コトヲ意味シ再提示ノ要求ニ對シテハ前記ノ如ク頑強ニ拒否
 セルコト真相ナリ

(日本標準規格Bの)

0481 2449

外務省

秘

大臣

次官

順政通條調人儀文會秘弘
問務約事典計書官報

寫送先

1918.10.17-5

電信課長

昭和18 二四七六 略 クイブシエラ 二月十六日發 政

十七日前着

谷外大臣

第一六五號

(在京「タス」特派員等査證ノ件)

十六日外務部ヨリ在京「タス」特派員「キセリヨハ」ノ計へ赴ク
同人等「アレクサンドラ、グロリヨリエウナ、キセリピンウテ」(一七)
八九八年生、高等教育未終了、前職露語教師一九〇〇年十二月ヨ
リ翌年十月迄在京露大使館附魯華夜ニ勤務セル由ニ封シ入國査
證發給方被頼越セリ査證差支ナキヤ神岡電アリタシ(了)

0482

0481

秘

大臣

次官

順政通條調人儀文會秘弘
問務約事典計書官報

寫送先

1918.10.17-5

電信課長

昭和18 一六七六五 略

吳斯科 十月十四日一七一〇發 政
本省 十五日一四三五着 儀

重光外務大臣

第一二四八號

(「タス」特派員ノ査證申請ニ關スル件)

「タス」特派員トシテ東京へ赴ク「ワルシヤフスキー、アナトリ
イー、ウラジミロワイチ」(一九一〇年生、高等教育、本邦渡航
ナシ)及同人等「マリヤ、ゲオルギヘブナ、ワルシヤフスカヤ」
(一九〇八年生、高等教育終了ノ本職學校教師、本邦渡航ナシ)
ニ封シ入國査證發給方十三日外務部ヨリ依頼越セリ(了)

0486

0489

外務省

外務省

秘

電信寫

地番	六一九七
符略	昭十九年五月廿五日午後七時十分
主	政三

京城 朝鮮司政局長

政務局長

「タス」通信員「ワルシヤウスキー」旅行阻止問題
第一八號 至急

本二十五日在京蘇聯大使館參事官本官ヲ來訪シ去ル二十三日東上ノ途ニ在リタル「タス」通信員「ワルシヤウスキー」ニ對シ警察官憲ハ平壤ヨリ新義州ヘ引還方要求シタルモ同人ハ京城ニ於テ總領事ニ報告スヘントテ其ノ體旅程ヲ繼續シタルトコロ京城ニ於テ憲兵位警察官憲ノ爲下車セシメラレ同地總領事ノ斡旋ニテ總領事館ニ入り今尙同地ニ滯留中ナルカ同人ハ日本側入國査證ヲ有シ從

而支障ナク其ノ任地ニ赴キ得ヘキハ勿論旅行ニ付日本側官憲ノ有
ユル便宜供與ヲ期待シ得ルニ不拘斯カル不法ナル取扱ヲ受ケタル
コトニ對シ外務省ノ注意ヲ喚起スルト共ニ同人カ至急出來得レハ
本日同地發東上ノ善ナル「クリエー」ト同行シ得ル様手配アリタ
キ旨申出テタリ

就テハ事情御取調ノ上至急御回電アリ度尙特別ノ事情ナキニ於テ
ハ速カニ同人ヲ東上セシメラルル様致度シ

0485 0484

0484 0485

電信寫

秘

號 番 總	一四三九二 一四三九三
號 符	陪
昭 和 十 九 年	十 月 廿 五 日 後 六 時 三 十 分
管 主	電

蘇・浦潮
「タス」特派員ニ對スル寢臺車手配ノ件 (轉電)
重光外務大臣
合第六八八號
滿洲里來電第二一〇號

六七八一八

△0487